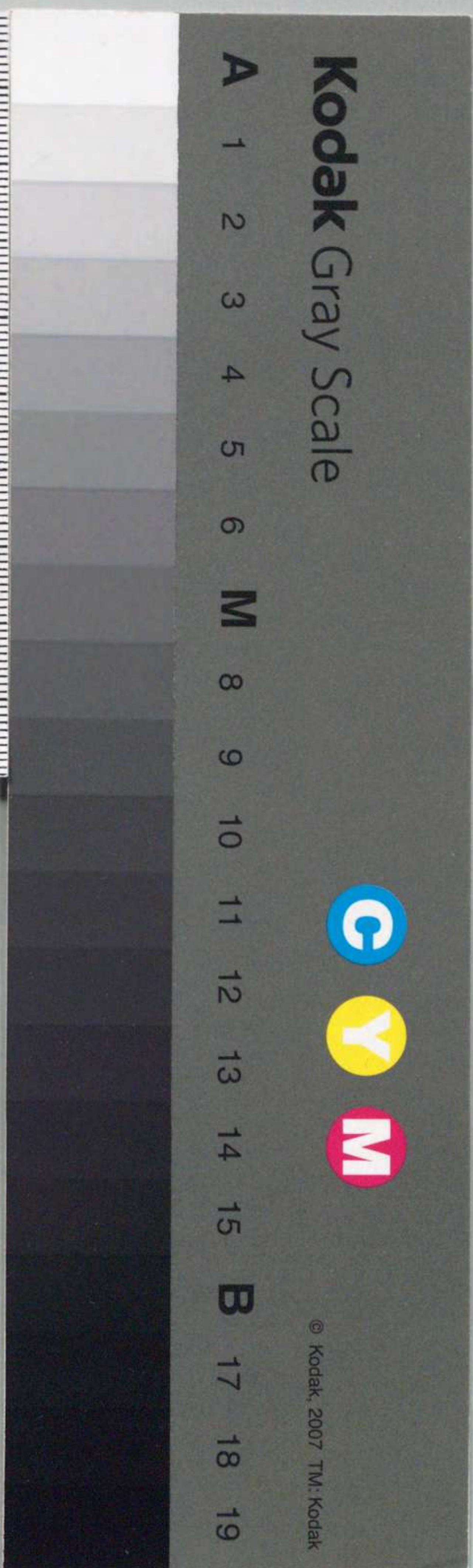
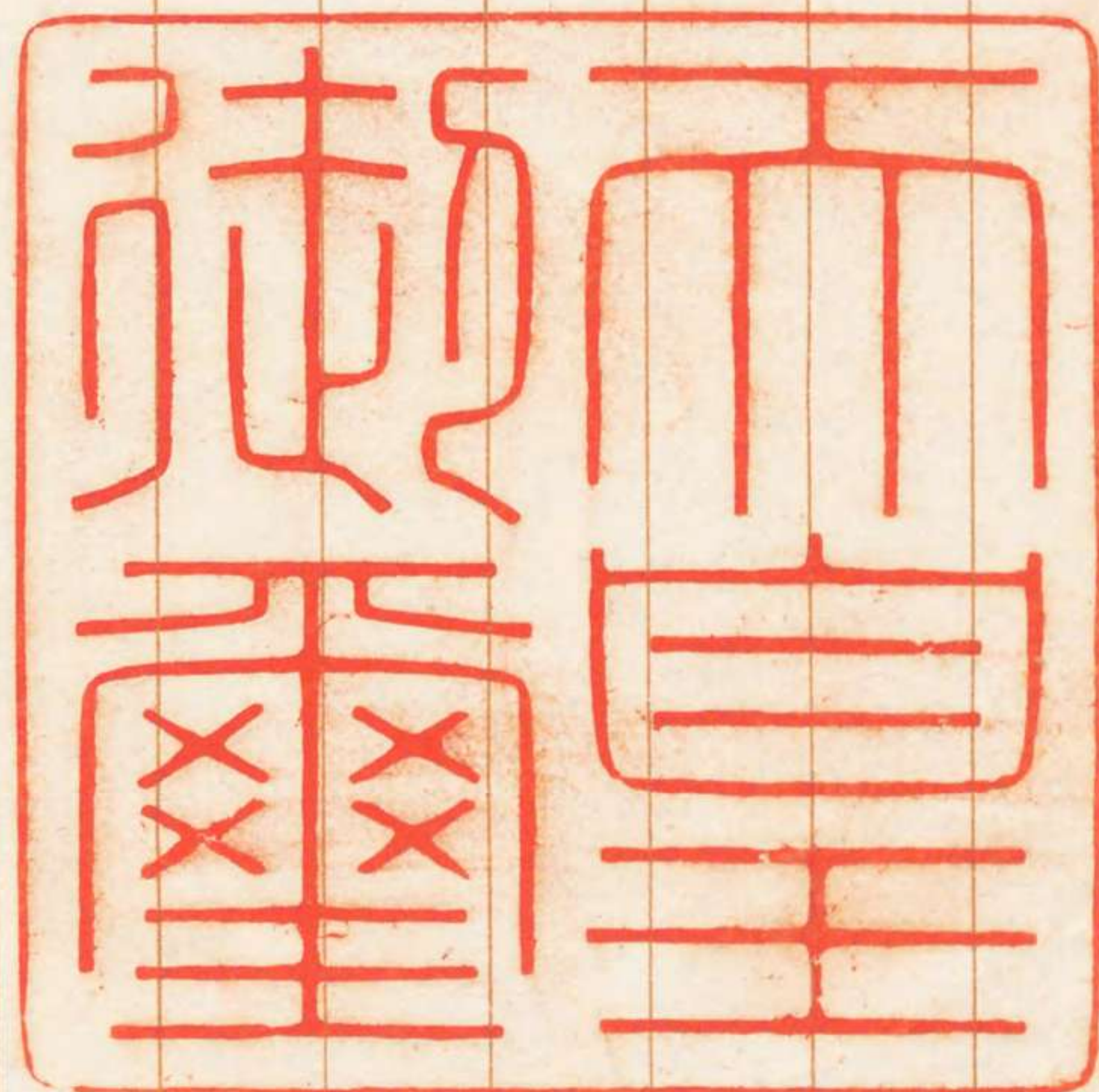


法律第三号

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ衆議
院議員選舉法及附録ヲ裁可シ
之ヲ公布セシメ併セテ帝國議
會ヲ召集スルノ年ヨリ本法ニ
依リ選舉ヲ施行セシムヘキコ
トヲ命ス



睦仁



明治三十二年二月十日

內閣總理大臣伯爵黑田清隆
樞密院議長伯爵伊藤博文
外務大臣伯爵大隈重信
海軍大臣伯爵西鄉從道
農商務大臣伯爵井上馨
司法大臣伯爵山田顯義
大藏大臣兼陸軍大臣伯爵松方正義
陸軍大臣伯爵大山巖
文部大臣子爵森有孝
遞信大臣子爵榎本武揚

法律第三號

衆議院議員選舉法

第一章 選舉區畫

第一條 衆議院ノ議員ハ各府縣ノ選舉區ニ於テ之ヲ選舉セシム其ノ選舉區及各選舉區ニ於テ選舉スヘキ定員ハ此ノ法律ノ附録ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 府縣知事ハ其ノ府縣ノ選舉區ノ選舉ヲ監督ス

一選舉區ノ選舉ハ郡長又ハ市長其ノ選舉長トナリ之ヲ管理ス

第三條 一選舉區ニシテ數郡市ニ涉ルト
キハ府縣知事ハ其ノ郡長又ハ市長ノ一
人ヲ命シ選舉長タラシムヘシ

第四條 一市ノ域内ニ於テ數選舉區アル
トキハ府縣知事ハ區長ヲシテ其ノ選舉
長タラシムヘシ

第五條 選舉ニ關ル費用ハ地方稅ヲ以テ
支辨スヘシ

第二章 選舉人ノ資格

第六條 選舉人ハ左ノ資格ヲ備フルコト

ヲ要ス

第一 日本臣民ノ男子ニシテ年齡滿二
十五歲以上ノ者

第二 選舉人名簿調製ノ期日ヨリ前滿
一年以上其ノ府縣内ニ於テ本籍
ヲ定メ住居シ仍引續キ住居スル
者

第三 選舉人名簿調製ノ期日ヨリ前滿
一年以上其ノ府縣内ニ於テ直接
國稅十五圓以上ヲ納メ仍引續キ

納ムル者

但シ所得税ニ付テハ人名簿調製ノ期日より前満三年以上之ヲ納

ノ仍引續キ納ムル者ニ限ル

第七條

家督ニ由リ財産ヲ相續シタル者

ハ其ノ財産ニ付前財産主ノ納税額ヲ以テ其ノ納税資格ニ算入ス

第三章

被選人ノ資格

第八條

被選人タルコトヲ得ル者ハ日本

臣民ノ男子満三十歳以上ニシテ選舉人

名簿調製ノ期日より前満一年以上其ノ

選舉府縣内ニ於テ直接國税十五圓以上

ヲ納ノ仍引續キ納ムル者タルヘシ

但シ所得税ニ付テハ人名簿調製ノ期日

ヨリ前満三年以上之ヲ納ノ仍引續キ納

ムル者ニ限ル

第九條

宮内官裁判官會計検査官收税官

及警察官ハ被選人タルコトヲ得ス

前項ノ外ノ官吏ハ其ノ職務ニ妨ケサル

限ハ議員ト相兼ヌルコトヲ得

第十條 府縣及郡ノ官吏ハ其ノ管轄區域内ニ於テ被選人タルコトヲ得ス

第十一條 選舉ノ管理ニ關係スル市町村ノ吏員ハ其ノ選舉區ニ於テ被選人タルコトヲ得ス

第十二條 神官及諸宗ノ僧侶又ハ教師ハ被選人タルコトヲ得ス

第十三條 府縣會ノ議員ニシテ衆議院ノ議員ニ選舉セラレ當選ヲ承諾シタルトキハ其ノ前職ヲ辭スヘキモノトス

第四章 選舉人及被選人ニ通スル規定

第十四條 左ノ項ノ一ニ觸ル、者ハ選舉人及被選人タルコトヲ得ス

一 瘋癲白癡ノ者

二 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ義務ヲ免レサル者

三 公權ヲ剝奪セラレタル者又ハ停止中ノ者

四 禁錮ノ刑ニ處セラレ滿期ノ後又ハ

赦免ノ後滿三年ヲ經サル者

五 舊法ニ依リ一年以上ノ懲役若ハ國

事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿期ノ後

又ハ赦免ノ後滿三年ヲ經サル者

六 賭博犯ニ由リ處刑ヲ受ケ滿期ノ後

又ハ赦免ノ後滿三年ヲ經サル者

七 選舉ニ關ル犯罪ニ由リ選舉權及被

選舉權ノ停止中ノ者

第十五條 陸海軍軍人ハ現役中選舉權ヲ

行フコトヲ得ス及被選人タルコトヲ得

ス其ノ休職停職ニ在ル者亦同シ

第十六條 華族ノ當主ハ衆議院議員ノ選

舉人及被選人タルコトヲ得ス

第十七條 刑事ノ訴ヲ受ケ拘留又ハ保釋

中ニ在ル者ハ其ノ裁判確定ニ至ルマテ

選舉權ヲ行フコトヲ得ス及被選人タル

コトヲ得ス

第五章 選舉人名簿

第十八條 選舉長ハ毎年四月一日ヲ期ト

シ各町村長ヲシテ一ノ投票區域内ニ於

テ選舉資格ヲ有スル者ヲ調査シ人名簿
二本ヲ調製シ同月二十日マテニ其ノ一
本ヲ差出サシムヘシ

選舉人名簿ハ選舉人ノ姓名官位職業身
分住所生年月納ムル所ノ直接國稅ノ總
額並ニ納稅地ヲ記載スヘシ

第十九條 市ニ於テハ左ノ方法ニ依リ選
舉人名簿ヲ調製スヘシ

第一 一市又ハ市内ノ一區ヲ以テ一選
舉區ト爲シタル場合ニ於テハ選

舉長其ノ人名簿ヲ調製スヘシ

第二 市内ニアル數區ヲ合シテ一選舉

區ト爲シタル場合ニ於テハ各區
長ヲシテ其ノ區内ノ人名簿ヲ調

製シ選舉長ニ差出サシムヘシ

第三 郡市ヲ合シテ一選舉區ト爲シタ

ル場合ニ於テ郡長其ノ選舉長ト
ナリタルトキハ市長ヲシテ其ノ
人名簿ヲ調製シ之ヲ差出サシム
ヘシ

第四 第三ノ場合ニ於テ市長其ノ選舉

長トナリタルトキハ市長其ノ市

内ノ人名簿ヲ調製スヘシ

第二十條 選舉人其ノ住居スル投票區域

ノ外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ納

稅地ノ町村長又ハ市長若ハ區長ノ證狀

ヲ得テ選舉人名簿調製ノ期日マテニ其

ノ投票ヲ管理スル町村長又ハ市長若ハ

區長ニ差出スヘシ

第二十一條 選舉長ハ各町村長又ハ市長

若ハ區長ヨリ差出シタル選舉人名簿ヲ

合シ一選舉區ヲ以テ一冊トシ選舉管理

ノ郡役所又ハ市役所若ハ區役所ニ備置

キ其ノ副本ヲ府縣知事ニ送致スヘシ

第二十二條 選舉長ハ毎年五月五日ヨリ

十五日間一選舉區選舉人名簿ノ寫ヲ其

ノ選舉管理ノ郡役所又ハ市役所若ハ區

役所ニ於テ縦覽セシムヘシ

第二十三條 凡テ選舉資格アル者選舉人

名簿ニ於テ人名ノ脱漏又ハ誤載アルコ

トヲ發見シタルトキハ其ノ理由書及證憑ヲ具ヘテ縦覽期限内ニ選舉長ニ申立テ其ノ改正ヲ求ムルコトヲ得縦覽期限ヲ經過シタル後前項ノ申立ヲ為スモ其ノ効ナシ

第二十四條 選舉長ニ於テ脱漏ノ申立ヲ受ケタルトキハ其ノ理由及證憑ヲ審査シ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ判定スヘシ若其ノ申立ヲ以テ正當ナリト判定シタルトキハ直ニ其ノ人名

ヲ記載シ其ノ由ヲ當人所在地ノ町村長又ハ市長若ハ區長ニ通知シ併セテ選舉區内ニ告示スヘシ

第二十五條 選舉長ニ於テ誤載ノ申立ヲ受ケタルトキハ其ノ理由及證憑ヲ審査シ必要ナル場合ニ於テハ申立人又ハ被告ノ召喚審問シ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ判定スヘシ若誤載ナリト判定シタルトキハ直ニ之ヲ削除シ其ノ由ヲ被告人所在地ノ町村長又ハ

市長若ハ區長ニ通知シ併セテ選舉區内ニ告示スヘシ

第二十六條 申立人又ハ被告人ニ於テ選舉長ノ判定ニ服セサルトキハ選舉長ヲ被告トシ判定ノ日ヨリ七日以内ニ始審裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十七條 始審裁判所ニ於テ前條ノ訴訟ヲ受取リタルトキハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ラス速ニ其ノ裁判ヲ爲スヘシ

第二十八條 前條ニ於ケル始審裁判所ノ

裁判ハ控訴スルコトヲ許サス但シ大審院ニ上告スルコトヲ得

第二十九條 選舉人名簿ハ六月十五日ヲ以テ確定期限トシ次年ノ調製ノ日マテ之ヲ据置クヘシ但シ裁判言渡書ニ依リ改正スヘキモノハ選舉長ニ於テ其ノ言渡書ヲ受取リタルトキヨリ二十四時内ニ之ヲ改正シ其ノ由ヲ申立人又ハ被告人所在地ノ町村長又ハ市長若ハ區長ニ通知シ併セテ選舉區内ニ告示スヘシ

第六章 選舉ノ期日及投票所

第三十條 選舉ノ投票ハ通常七月一日ニ之ヲ行フ但シ衆議院解散ヲ命セラレタルトキハ勅令ヲ以テ臨時選舉ノ期日ヲ定メ少クトモ三十日以前ニ公布スヘシ

第三十一條 投票所ハ町村役場又ハ町村長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ設ケ町村長之ヲ管理ス

第三十二條 一町村ニ於テ選舉人少數ニシテ一ノ投票所ヲ設クルニ足ラサルト

キハ數町村ヲ合併スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ郡長ハ府縣知事ノ認可ヲ經テ合併ノ町村及投票所並ニ投票所管理ノ町村長ヲ指定スヘシ

第三十三條 町村長ハ其ノ管理スル投票区域内ニ於ケル選舉人中ヨリ立會人二名以上五名以下ヲ定メ遅クトモ選舉ノ期日ヨリ三日以前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉ノ當日投票所ニ參會セシムヘシ立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ

辭スルコトヲ得ス

第七章 投票

第三十四條 投票ハ午前七時ニ始メ午後六時ニ終ル

第三十五條 投票函ハ二重ノ蓋ヲ造リ二種ノ鍵ヲ設ケ其ノ一ハ町村長之ヲ管守シ其ノ一ハ立會人之ヲ管守スヘシ

第三十六條 町村長ハ投票ノ初ニ當リ立會人ト共ニ參會シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虚ナルコトヲ

示スヘシ

第三十七條 選舉人ハ選舉ノ當日本人自ラ投票所ニ至リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票スヘシ

第三十八條 投票用紙ハ各府縣各一定ノ式ヲ用井選舉ノ當日投票所ニ於テ町村長ヨリ之ヲ各選舉人ニ交付スヘシ
選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ被選人ノ姓名ヲ記載シ次ニ自己ノ姓名住所ヲ記載シテ捺印スヘシ

第三十九條

選舉人ニシテ文字ヲ書スル
コト能ハサル由ヲ申立ツルトキハ町村
長ハ吏員ヲシテ代書セシノ之ヲ本人ニ
讀ミ聞カセ捺印投票セシノ其ノ由ヲ投
票明細書ニ記載スヘシ

第四十條

二人以上ノ議員ヲ選舉スヘキ
選舉區ニ於テハ連名投票ヲ用ウヘシ

第四十一條

選舉人名簿ニ記載セラレタ
ル者ノ外投票スルコトヲ得ス但シ選舉
人名簿ニ記載セラレヘキ裁判言渡書ヲ

所持シ選舉ノ當日投票所ニ至ル者アル

トキハ町村長ハ投票用紙ヲ交付シ投票

セシノ其ノ由ヲ投票明細書ニ記載スヘ

シ

第四十二條

投票終ルノ時期ニ至リタル
トキハ町村長ハ其ノ由ヲ告ケ投票函ヲ
閉鎖スヘシ投票函閉鎖ノ後ハ總テ投票
スルコトヲ許サス

第四十三條

町村長ハ投票明細書ヲ作り
投票ニ關ル一切ノ事項ヲ記載シ立會人

ト共ニ署名スヘシ

第四十四條 町村長ハ一名又ハ數名ノ立會人ト共ニ投票ノ翌日投票函及投票明細書ヲ併セテ選舉管理ノ郡役所又ハ市役所若ハ區役所ニ送致スヘシ

第四十五條 一選舉區内ニアル嶋嶼ニシテ前條ノ期限内ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル情况アルトキハ府縣知事ハ人名簿確定ノ日ヨリ選舉ノ期日マテノ間ニ於テ適宜ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メ

選舉會ノ期日マテニ其ノ投票函ヲ送致セシムルコトヲ得

第八章 選舉會

第四十六條 選舉會ハ選舉管理ノ郡役所又ハ市役所若ハ區役所ニ於テ之ヲ開ク

第四十七條 選舉長ハ各投票所ヨリ參會シタル立會人ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ選舉委員三名以上七名以下ヲ定ムヘシ

第四十八條 選舉長ハ投票函送達ノ翌日選舉委員立會ノ上各投票函ヲ開キ投票

ノ総數ト投票人ノ総數トヲ計算スヘシ
若投票ト投票人トノ総數ニ差異ヲ生シ
タルトキハ其ノ由ヲ選舉明細書ニ記載
スヘシ

第四十九條 總數ノ計算ヲ終リタルトキ
ハ選舉長ハ選舉委員ト共ニ投票ヲ點檢
スヘシ

第五十條 各選舉區ノ選舉人ハ其ノ選舉
會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第五十一條 左ニ掲クル投票ハ無効トス

一 選舉人ナキ者ノ投票但

シ裁判官持シタルニ依リ

投票シタル者ノ限ニ在ラス

二 成規ノ用紙ヲ用サルモノ

三 選舉人自己ノ姓記載セサルモ

四 資格ナキ被選人ノ姓ヲ記載スル

モノ但シ連名投票ニ列記スル人員
中資格アル者ニ付テハ其ノ効アル
モノトス

ノ総數ト投票人ノ総數トヲ計算スヘシ
若投票ト投票人トノ総數ニ差異ヲ生シ
タルトキハ其ノ由ヲ選舉明細書ニ記載
スヘシ

第四十九條 総數ノ計ヲ終リタルトキ
ハ選舉長ハ選舉委員共ニ投票ヲ點檢
スヘシ

第五十條 各選舉區ニ選舉人ハ其ノ選舉
會ニ參觀ヲ求メ得

第五十一條 投票ハ無効トス



- 一 選舉人名簿ニ記載ナキ者ノ投票但
シ裁判言渡書ヲ所持シタルニ依リ
投票シタル者ハ此ノ限ニ在ラス
- 二 成規ノ用紙ヲ用ヰサルモノ
- 三 選舉人自己ノ姓名ヲ記載セサルモ
ノ
- 四 資格ナキ被選人ノ姓名ヲ記載スル
モノ但シ連名投票ニ列記スル人員
中資格アル者ニ付テハ其ノ効アル
モノトス

五 誤字又ハ汚染塗抹毀損ニ依リ記載
スル所ノ選舉人又ハ被選人ノ姓名
ヲ認知スヘカラサルモノ但シ通常
ノ假名字ヲ用井又ハ誤字ニ係ルモ
明ニ其ノ姓名ヲ認知スルコトヲ得
ルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 第三十八條第二項ニ規定シタル外
他ノ文字ヲ記載シタルモノ但シ被
選人ノ指名ヲ誤ラサル為ニ其ノ官
位職業身分住所ヲ附記シ又ハ敬稱

ヲ用井タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五十二條 投票効力ノ有無ニ付疑義ア
ルトキハ選舉委員ノ意見ヲ聞キ選舉長
之ヲ決定ス此ノ決定ニ對シテハ選舉會
場ニ於テ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五十三條 無効ノ投票ハ抹線ヲ加ヘ其
ノ由ヲ選舉明細書ニ記載シ一箇年間保
存シ期限ヲ經過シタル後之ヲ燒棄ツヘ
シ

第五十四條 一投票ニシテ其ノ選舉スヘ

キ定員ヨリ多キ被選人ノ姓名ヲ記載シ
タルトキハ其ノ定員ニ超エタル人名ヲ
末尾ヨリ除却スヘシ
連名投票ニシテ其ノ選舉スヘキ定員ニ
足ラサルトキハ現ニ記載シタル者ノミ
ヲ計算スヘシ但シ一人ノ姓名ヲ複記シ
タル者ハ一人トシテ之ヲ計算スヘシ
第五十五條 投票ハ六十日間郡役所又ハ
市役所若ハ區役所ニ保存シ期限ヲ經過
シタル後之ヲ燒棄ツヘシ

第五十六條 選舉ニ關リ訴訟又ハ告訴告
發アルトキハ第五十三條第五十五條ノ
期限ヲ經過スルモ裁判確定ニ至ルマテ
其ノ投票ヲ保存スヘシ

第五十七條 選舉長ハ選舉明細書ヲ作り
選舉點檢ニ關ル一切ノ事項ヲ記載シ選
舉委員ト共ニ署名シ之ヲ保存スヘシ

第九章 當選人

第五十八條 投票總數ノ最多數ヲ得タル
者ハ之ヲ當選人トス

相模
密
院

投票同數ナルトキハ生年月ノ長者ヲ以
テ當選人トス同年月ナルトキハ抽籤ヲ
以テ之ヲ定ムヘシ

第五十九條 當選人定リタルトキハ選舉
長ハ直ニ其ノ姓名及投票ノ數ヲ府縣知
事ニ届出ヘシ

第六十條 府縣知事前條ノ届出ヲ受ケタ
ルトキハ各當選人ニ通知シ其ノ姓名ヲ
管内ニ告示スヘシ

第六十一條 當選人當選ノ通知ヲ受ケタ

ルトキハ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ府
縣知事ニ届出ヘシ

第六十二條 一人ニシテ數選舉區ノ當選
人トナリタル者當選ノ通知ヲ受ケタル
トキハ何レノ選舉區ノ當選ヲ承諾スル
旨ヲ府縣知事ニ届出ヘシ

第六十三條 當選人其ノ府縣内ニ在ル者
ハ十日以内其ノ府縣外ニ在ル者ハ二十
日以内ニ當選承諾ノ届出ヲ為サ、ルト
キハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト見做ス

區
密
完

ヘシ

第六十四條 當選人ニシテ其ノ當選ヲ辭
シ又ハ期限内ニ其ノ當選ノ承諾ヲ届出
サルトキハ府縣知事ハ選舉ノ期日ヲ定
メ其ノ選舉長ニ命シ再ニ選舉ヲ行ハシ
ムヘシ但シ第五十八條第二項ノ場合ニ
於テ抽籤ニ依リ當選ヲ得タル者其ノ當
選ヲ辭シ又ハ其ノ承諾ヲ届出サルトキ
ハ抽籤ニ依リ當選ヲ失ヒタル者ヲ以テ
當選人ト定ムヘシ

第六十五條 各選舉區ノ當選人確定シタ
ルトキハ府縣知事ハ當選證書ヲ付與シ
及管内ニ告示シ並ニ當選人ノ資格ヲ錄
シテ内務大臣ニ具申スヘシ

第十章 議員ノ任期及補闕選舉

第六十六條 議員ノ任期ハ四箇年トス但
シ任期ヲ終リタル後仍選舉ニ應スルコ
トヲ得

第六十七條 議員ノ闕員アルニ由リ内務
大臣ヨリ補闕選舉ヲ開クヘキ旨ヲ命セ

ラレタルトキハ府縣知事ハ其ノ命ヲ受
ケタル日ヨリ二十日以内ニ闕員ノ選舉
區ニ限リ臨時選舉ヲ行ヒ補闕議員ヲ選
舉セシムヘシ

第六十八條 補闕議員ノ任期ハ前議員ノ
任期ニ依ル

第十一章 投票所取締

第六十九條 投票管理ノ町村長ハ投票所
ノ秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ於テハ
警察官吏ノ處分ニ付スルコトヲ得

第七十條 凡テ戎器又ハ兇器ヲ携帶スル
者ハ投票所ニ入ルコトヲ許サス

第七十一條 選舉人ニ非サル者ハ投票所
ニ入ルコトヲ許サス

七十二條 投票所ニ於テハ一切ノ演說
討論及喧譟ニ涉リ又ハ他人ノ投票ヲ勸
誘スルコトヲ禁ス

七十三條 投票所ニ於テ秩序ヲ紊ル者
アルトキハ町村長ハ之ヲ警戒シ其ノ命
ニ從ハサルトキハ之ヲ投票所ノ外ニ退

出セシムヘシ

第七十四條 投票所ノ外ニ退出セシノタル者ハ犯罪者ヲ除ク外其ノ投票ヲ為サシムル爲ニ再ヒ投票所ノ内ニ呼入ルコトヲ得

第七十五條 投票所ニ參會シタル選舉人ニシテ刑法又ハ此ノ法律ノ罰則ヲ犯シタル者ハ投票スルコトヲ禁シ其ノ姓名事由ヲ投票明細書ニ記載スヘシ

第七十六條 投票ニ關ル異議ノ申立ニ付

町村長ノ決定ニ對シテハ投票所ニ於テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第七十七條 選舉管理ノ郡役所又ハ市役所若ハ區役所ニ於テ選舉會ノ參觀ヲ求ムル者ハ總テ第六十九條ヨリ第七十三條ニ至ルマテノ例ニ照シ選舉長之ヲ處分スヘシ

第十二章 當選訴訟

第七十八條 各選舉區ニ於テ當選ヲ失ヒタル者當選人ノ當選ヲ無効トスルノ理

由アリト認ムルトキハ當選人ヲ被告ト
シ第六十五條ニ掲ケタル當選人ノ姓名
告示ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出
訴スルコトヲ得
其ノ期限ヲ經過シタル後出訴スルモ其
ノ効ナシ

第七十九條 原告人ハ訴訟狀ト共ニ保證
金トシテ金三百圓又ハ之ニ相當スル公
債證書ヲ控訴院書記局ニ預置クヘシ
第八十條 原告人敗訴ノ場合ニ於テ裁判

言渡ノ日ヨリ七日以内ニ一切ノ裁判費
用ヲ納完セサルトキハ保證金ヨリ之ヲ
控除シ仍足ラサルトキハ之ヲ追徴スヘ
シ

第八十一條 同一ノ當選人ニ對シ二人以
上ノ原告人訴訟ヲ為シタルトキハ控訴
院ハ一ノ裁判言渡書ヲ以テ各訴訟人ニ
宣告スルコトヲ得

第八十二條 審判中衆議院解散ノ命アル
トキハ控訴院ハ其ノ訴訟ヲ棄却スヘシ

第八十三條 原告人訴訟ヲ願下クルトキ
ハ同時ニ其ノ由ヲ新聞紙又ハ其ノ他ノ
方法ヲ以テ公告スヘシ

第八十四條 控訴院ハ當選訴訟ヲ審判ス
ルニ當リ本訴ニ關係スル刑法又ハ此ノ
法律ノ犯罪者ニ對シ直ニ處刑ノ言渡ヲ
爲スコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ檢
察官ヲシテ立會ハシムヘシ

當選訴訟ニ關係セサル場合ニ於ケル此
ノ法律ノ犯罪者ハ所轄刑事裁判所ニ於

テ之ヲ裁判ス

第八十五條 控訴院ニ於テ當選訴訟ヲ判
定シタルトキハ其ノ裁判言渡書ノ謄本
ヲ内務大臣ニ送付スヘシ若衆議院開會
スルトキハ併セテ之ヲ議長ニ送付スヘ
シ

第八十六條 當選訴訟ニ付控訴院ノ裁判
ニ對シテハ大審院ニ上告スルコトヲ得
第八十七條 訴訟ノ目的タル當選人ハ其
ノ裁判確定ニ至ルマテ衆議院ニ列席ス

ルノ權ヲ失ハス

第百八十八條 當選訴訟ニ付本章ニ規定シタルモノ、外総テ普通ノ訴訟手續ニ依ル

第十三章 罰則

第百八十九條 納税額年齢住所及其ノ他選舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得

セシノ若ハ他人ノ為ニ投票ヲ為スコトヲ抑止スルノ目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ金錢物品手形若ハ公私ノ職務ヲ選舉人ニ授與シ又ハ授與スルコトヲ約束シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

其ノ授與又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ
第百九十一條 直接又ハ間接ニ金錢物品手形若ハ公私ノ職務ヲ選舉人ニ授與シ又ハ授與スルコトヲ約束シテ投票ヲ得又

ハ他人ニ投票ヲ得セシノ若ハ他人ノ為ニ投票ヲ為スコトヲ抑止シタル者ハ刑法第二百三十四條ノ例ヲ以テ論ス其ノ授與又ハ約束ヲ受ケ投票ヲ為シ又ハ投票ヲ為サル者亦同シ

第九十二條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシノ若ハ他人ノ為ニ投票ヲ為スコトヲ抑止スルノ目的ヲ以テ選舉人ニ暴行ヲ加ヘタル者ハ一月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス

第九十三條 選舉人ニ暴行ヲ加ヘテ投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシノ若ハ他人ノ為ニ投票ヲ為スコトヲ抑止シタル者ハ三月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九十四條 選舉人ヲ強逼シ又ハ投票所若ハ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留毀壞若ハ劫奪スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者ハ六月以上二年以下ノ

輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金
ヲ附加ス

其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル
者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處
シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
犯罪者戎器又ハ兇器ヲ携帶シタルトキ
ハ各本刑ニ一等ヲ加フ

第九十五條 選舉ノ際管理者又ハ立會人
ニ暴行ヲ加ヘ又ハ暴行ヲ以テ投票所若
ハ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留

毀壞若ハ劫奪シタル者ハ四月以上四年
以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓
以下ノ罰金ヲ附加ス

犯罪者戎器又ハ兇器ヲ携帶シタルトキ
ハ各本刑ニ一等ヲ加フ

第九十六條 多衆ヲ嘯聚シテ前條ノ罪ヲ
犯シタル者ハ重禁獄ニ處ス

其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル
者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス
犯罪者戎器又ハ兇器ヲ携帶シタルトキ

ハ各、本刑ニ一等ヲ加フ

第九十七條 演說又ハ新聞紙若ハ其ノ他
ノ文書ヲ以テ人ヲ教唆シ前三條ノ罪ヲ
犯サシメタル者ハ刑法第百五條ノ例ニ
依ル其ノ教唆ノ効ナキ者モ仍本刑ニ二
等又ハ三等ヲ減シ處斷ス

第九十八條 戎器又ハ兇器ヲ携帯シテ投
票所若ハ選舉會場ニ入リタル者ハ三圓
以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十九條 當選人ニ於テ第百八十九條ヨ

リ第百九十八條ニ至ルマテノ刑ニ處セラ
レタルトキハ其ノ當選ハ無効トス

第百條 他人ノ姓名ヲ詐稱シテ投票ヲ為
シタル者及第百十四條ニ依リ選舉人タル
コトヲ得サル者投票ヲ為シタルトキハ
四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百一條 前數條ノ罪ヲ犯シ禁錮以上ノ
刑ニ處セラレ又ハ再ヒ罰金ノ刑ニ處セ
ラレタル者ハ三年以上七年以下選舉權
及被選舉權ヲ停止ス

第百二條 立會人正當ノ事故ナクシテ此ノ法律ニ規定シタル義務ヲ缺クトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三條 本章ニ規定シタル罰則ノ外刑法ニ正條アルモノハ各其ノ條ニ依リ重キニ從テ處斷ス

第百四條 凡テ選舉ニ關ル犯罪ハ六箇月ヲ以テ期滿免除トス

第百五條 此ノ罰則ハ第十一章ノ各條ト共ニ投票所及選舉會場ニ貼示スヘシ

第十四章 補則

第百六條 市ニ於テハ一市ニ一ノ投票所ヲ設ケ此ノ法律ニ規定シタル投票及選舉ノ管理ハ市長兼テ之ヲ掌ルヘシ

第百七條 前條ノ場合ニ於テハ一選舉區ニ一ノ投票所ヲ設ケ此ノ法律ニ規定シタル投票及選舉ノ管理ハ區長兼テ之ヲ掌ルヘシ

第百七條 前條ノ場合ニ於テハ市長又ハ區長ハ其ノ管理スル選舉區内ニ於ケル

相 密 院

選舉人中ヨリ立會人三名以上七名以下
ヲ定メ遲クトモ選舉ノ期日ヨリ三日以
前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉ノ當日選舉
管理ノ市役所又ハ區役所ニ參會セシム
ヘシ

立會人ハ投票ニ立會ヒ併セテ投票ヲ點
檢スヘシ

此ノ場合ニ於ケル選舉明細書ハ併セテ
投票ノ事項ヲ記載スヘシ

第百八條 嶋司ヲ置ク地方ニ於テハ此ノ

法律ニ規定シタル選舉長ノ職務ハ嶋司
之ヲ掌ルヘシ

第百九條 町村制ヲ施行セサル町村ニ於
テハ此ノ法律ニ規定シタル町村長ノ職
務ハ戸長之ヲ掌ルヘシ

第百十條 選舉人名簿調製ノ初年ニ限リ
所得稅法施行以來第百六條第百八條ニ規定
シタル納稅額ヲ引續キ納完シタル者ハ
其ノ納稅資格ノ期限ニ充ツルモノト見
做スヘシ

區 密 院

第百十一條 北海道沖繩縣及小笠原嶋ニ
於テハ將來一般ノ地方制度ヲ準行スル
ノトキニ至ルマデ此ノ法律ヲ施行セス